

川とともに生きてきた

- 高木家文書にみる木曾三川流域の歴史・環境・技術 -



木曾三川流域大絵図(宝暦治水前)：名古屋大学附属図書館蔵

平成13年

3/1(木)~ 3/10(土)
9:30 ~ 16:30

- 場 所**：名古屋大学中央図書館4階
展示室および演習室
- 主 催**：名古屋大学附属図書館
- 後 援**：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、
三重県教育委員会、名古屋市教育委員会

記念講演会

- 日 時**：3月2日(金) 13:30 ~ 16:30
- 場 所**：名古屋大学中央図書館5階 多目的室
- 講 師**：秋山 晶則氏(名古屋大学年代測定総合研究センター助手)
「高木家文書整理の現状と課題」 13:40 ~ 14:00
- 羽賀 祥二氏(名古屋大学大学院文学研究科教授)
「川の碑いしづみ - 治水と流域の歴史をたどる - 」14:00 ~ 15:00
- 大熊 孝氏(新潟大学工学部教授、新潟の水辺を考えるの会長)
「伝統的河川工法の有効性について」 15:15 ~ 16:30

川とともに生きてきた

- 高木家文書にみる木曾三川流域の歴史・環境・技術 -

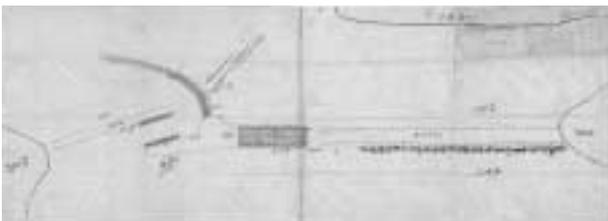
河川は人に大きな恵みをもたらす一方で、時には猛威をふるい、多くの人命を奪うことさえあります。この河川という自然と人との理想的な関係を築くには、過去から現在にいたる先人の経験に学ぶ必要があるのではないのでしょうか。今回の展示では、宝暦治水をはじめ、愛知・岐阜・三重の3県にまたがる木曾三川治水史の宝庫として知られる附属図書館所蔵高木家文書(総点数約8万点)をとりあげ、新たに整理された史料をまじえながら、人と自然の関係をふりかえり、今後の自然との共生のあり方について考えてみたいと思います。



老中奉書(川通り巡見指令、1705年)



血判誓詞(内藤十左衛門他、1754年)



油島締切争論絵図(1845年)

主な展示史料

- 木曾三川流域大絵図(宝暦治水前・後)
- 大垣輪中付近絵図(年未詳)
- 筵田真桑用水絵図(1665年)
- 濃州国役普請之覚(1665年)
- 輪中堤普請願書(1715年)
- 三川分流普請願書(1753年)
- 普請目論見絵図(1753年)
- 水中難場等の請負願書(1754年)
- 蒼海記(1754~55年)
- 大樽川口洗堰絵図(年未詳)
- 修復継続につき大樽川洗堰組合願書(1784年)
- 森部輪中悪水落江自普請願書請印帳(1801年)
- 中村新規掛廻堤願場所畷絵図(1831年)
- 濃勢尾州川筋絵図(天保期)
- 笠松堤方役人極密書状(天保期)
- 長良川通図(年未詳)

案内図

